

2026 年 10 月 14 日

各 位

会 社 名 株式会社メタプラネット
代 表 者 名 代表執行役 CEO サイモン・ゲロヴィッチ
(東証スタンダード市場：3350)
問 合 せ 先 執行役 CFO 奥野 晋平
<https://metaplanet.jp/ja/ir-contact>

(訂正)「ゼロ・クーポン 2031 年満期ユーロ円建転換社債型新株予約権付社債の 発行に関するお知らせ」の一部訂正について

2026 年 10 月 13 日付で開示しました「ゼロ・クーポン 2031 年満期ユーロ円建転換社債型新株予約権付社債の発行に関するお知らせについて」の記載事項について、記載内容の一部に訂正を要する箇所がありましたので、下記のとおりお知らせいたします。なお、訂正箇所については下線を付して表示しております。

記

1. 訂正の理由について

「ゼロ・クーポン 2031 年満期ユーロ円建転換社債型新株予約権付社債の発行に関するお知らせ」の記載内容に誤りがありましたので、これを訂正するものであります。

2. 訂正の内容

【訂正前】

(前略)

記

(中略)

7. 社債に関する事項

(中略)

(4) 社債の繰上償還

(イ) 当社の選択等による繰上償還

①160%コールオプション条項による繰上償還

当社は、株式会社東京証券取引所における当社普通株式の普通取引の終値が、30 連続取引日（以下に定義する。）のうち 20 取引日において当該各取引日に適用のある上記 6(4) (ロ)

本報道発表文は、当社の転換社債型新株予約権付社債の発行に際して一般に公表するための発表文であり、投資勧誘又はそれに類する行為を目的として作成されたものではありません。なお、同社債については国内における募集又は売出しは行われません。また、本報道発表文は、米国を含むあらゆる地域における同社債の募集を構成するものではありません。米国1933年証券法に基づいて証券の登録を行うか又は登録の免除を受ける場合を除き、米国において証券の募集又は販売を行うことはできません。米国において証券の募集又は販売が行われる場合には、米国1933年証券法に基づいて作成され、発行会社から入手可能な、発行会社及びその経営陣に関する詳細な情報及び財務諸表を含む英文目論見書が用いられます。なお、本件においては米国における同社債の募集又は販売は行われず、同社債の登録も行われません。

METAPLANET

記載の転換価額の160%以上であった場合、当該30連続取引日の末日から30日以内に本新株予約権付社債の保有者（以下「本新株予約権付社債権者」という。）に対して30日以上60日以内の事前の通知をしたうえで、2029年10月29日以降、残存本社債の全部（一部は不可）をその額面金額の100%の価額で繰上償還することができる。

「取引日」とは、株式会社東京証券取引所が開設されている日をいい、終値が発表されない日を含まない。

（中略）

（ご参考）

（中略）

3. その他

（中略）

（5）株券貸借に関する契約

本新株予約権付社債の発行に関連し、ゲロヴィッチ氏は、同氏が保有する当社普通株式のうち最大5,500万株について、同氏が設立し、その持分の100%を保有する資産管理会社であるGerovich Family Holdings Limited（以下「本資産管理会社」といいます。）を通じて、以下の二段階の株券貸借（以下「本株券貸借取引」といいます。）を行う予定です。

- ① ゲロヴィッチ氏を貸主、本資産管理会社を借主とする株券貸借契約を締結し、ゲロヴィッチ氏が保有する当社普通株式最大5,500万株を本資産管理会社に貸し付けます。
- ② 本資産管理会社を貸主、本新株予約権付社債の幹事引受会社又はその関係会社を借主とする株券貸借契約を締結し、本資産管理会社が上記①により借り受けた当社普通株式最大5,500万株を当該幹事引受会社又はその関係会社に貸し付けます。

本株券貸借取引は、幹事引受会社又はその関係会社が、本新株予約権付社債を購入する投資家に対し、当該投資家がヘッジ目的で行う売付けに係る当社普通株式を提供することを主たる用途として行われるものです。当社は、本株券貸借取引により投資家によるヘッジ取引を円滑にし、結果的に本新株予約権付社債の発行条件の改善を図ることが、当社及び既存株主の利益に資するものと考えております。

本株券貸借取引は、ゲロヴィッチ氏が保有する既発行の当社普通株式を貸し付けるものであり、本株券貸借取引自体により当社が新たに株式を発行するものではなく、当社の発行済株式総数に変動は生じません。また、各株券貸借契約に定める貸借期間の終了時には、幹事引受会社又はその関係会社から本資産管理会社へ、本資産管理会社からゲロヴィッチ氏へ、それぞれ同種同数の当社普通株式が返還される予定です。

【訂正後】

（前略）

記

（中略）

7. 社債に関する事項

（中略）

本報道発表文は、当社の転換社債型新株予約権付社債の発行に際して一般に公表するための発表文であり、投資勧誘又はそれに類する行為を目的として作成されたものではありません。なお、同社債については国内における募集又は売出しは行われません。また、本報道発表文は、米国を含むあらゆる地域における同社債の募集を構成するものではありません。米国1933年証券法に基づいて証券の登録を行うか又は登録の免除を受ける場合を除き、米国において証券の募集又は販売を行うことはできません。米国において証券の募集又は販売が行われる場合には、米国1933年証券法に基づいて作成され、発行会社から入手可能な、発行会社及びその経営陣に関する詳細な情報及び財務諸表を含む英文目録見書が用いられます。なお、本件においては米国における同社債の募集又は販売は行われず、同社債の登録も行われません。

(4) 社債の繰上償還

(イ) 当社の選択等による繰上償還

①160%コールオプション条項による繰上償還

当社は、株式会社東京証券取引所における当社普通株式の普通取引の終値が、30 連続取引日（以下に定義する。）のうち 20 取引日において当該各取引日に適用のある上記 6(4) (ロ) 記載の転換価額の 160%以上であった場合、当該 30 連続取引日の末日から 30 日以内に本新株予約権付社債の保有者（以下「本新株予約権付社債権者」という。）に対して 30 日以上 60 日以内の事前の通知をしたうえで、2029 年 11 月 12 日以降、残存本社債の全部（一部は不可）をその額面金額の 100%の価額で繰上償還することができる。

「取引日」とは、株式会社東京証券取引所が開設されている日をいい、終値が発表されない日を含まない。

（中略）

（ご 参 考）

（中略）

3. その他

（中略）

(5) 株券貸借に関する契約

本新株予約権付社債の発行に関連し、ゲロヴィッチ氏は、同氏が保有する当社普通株式のうち最大 5,500 万株について、同氏が設立し、その持分の 100%を保有する資産管理会社である Gerovich Family Holdings Limited（以下「本資産管理会社」といいます。）を通じて、以下の二段階の株券貸借（以下「本株券貸借取引」といいます。）を行う予定です。

- ① ゲロヴィッチ氏を貸主、本資産管理会社を借主とする株券貸借契約を締結し、ゲロヴィッチ氏が保有する当社普通株式最大 5,500 万株を本資産管理会社に貸し付けます。
- ② 本資産管理会社を貸主、本新株予約権付社債の幹事引受会社又はその関係会社を借主とする株券貸借契約を締結し、本資産管理会社が上記①により借り受けた当社普通株式最大 5,500 万株を、貸付対象となる当社普通株式の時価に対し年率 0.75%の賃借料にて、当該幹事引受会社又はその関係会社に貸し付けます。

本株券貸借取引は、幹事引受会社又はその関係会社が、本新株予約権付社債を購入する投資家に対し、当該投資家がヘッジ目的で行う売付けに係る当社普通株式を提供することを主たる用途として行われるものです。当社は、本株券貸借取引により投資家によるヘッジ取引を円滑にし、結果的に本新株予約権付社債の発行条件の改善を図ることが、当社及び既存株主の利益に資するものと考えております。

本株券貸借取引は、ゲロヴィッチ氏が保有する既発行の当社普通株式を貸し付けるものであり、本株券貸借取引自体により当社が新たに株式を発行するものではなく、当社の発行済株式総数に変動は生じません。また、各株券貸借契約に定める貸借期間の終了時には、幹事引受会社又はその関係会社から本資産管理会社へ、本資産管理会社からゲロヴィッチ氏へ、それぞれ同種同数の当社普通株式が返還される予定です。

以 上

本報道発表文は、当社の転換社債型新株予約権付社債の発行に際して一般に公表するための発表文であり、投資勧誘又はそれに類する行為を目的として作成されたものではありません。なお、同社債については国内における募集又は売出しは行われません。また、本報道発表文は、米国を含むあらゆる地域における同社債の募集を構成するものではありません。米国1933年証券法に基づいて証券の登録を行うか又は登録の免除を受ける場合を除き、米国において証券の募集又は販売を行うことはできません。米国において証券の募集又は販売が行われる場合には、米国1933年証券法に基づいて作成され、発行会社から入手可能な、発行会社及びその経営陣に関する詳細な情報及び財務諸表を含む英文目論見書が用いられます。なお、本件においては米国における同社債の募集又は販売は行われず、同社債の登録も行われません。